

モニタリング結果報告書

施設 愛名やまゆり園

指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会

施設所管課 神奈川県保健福祉局障害福祉サービス課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	4月14日		月報により利用状況、職員配置状況を確認。
5月	5月10日		
6月	6月10日		
7月	7月9日		
8月	8月10日		
9月	9月8日		

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

- 1 重度重複障害者支援の特色ある施設運営を目指す。
- 2 加齢に伴い一般の人に比較して早期にかつ急激に進む身体機能、精神機能及び生活機能の低下に対する予防と介助量の増大に対して、より安心、安全な生活を支援する。
- 3 行動障害の著しい重度知的障害者に対して、安定的なプログラムを提供して、当該行動の軽減を図る。
- 4 障害の重い入所者の地域生活移行への取組みと、在宅障害者支援のバックアップ施設として、あるいは、待ちの姿勢ではなく地域に積極的に進出する相談活動を行い、地域支援機能の充実を図る。

< 実施状況 >

- 1 利用者、家族の思いを汲み取った個別支援計画を策定するとともに、利用者の特性に合わせた寮の再編成に取組み今年度より実施し支援に当たる。
- 2 利用者の身体機能低下に対応すべく、支援プログラムにマッサージを取り入れ低下に対する予防を実施した。
また、嚥下機能を維持し誤嚥防止の研修により職員の支援技術の向上の研修会を実施した。
- 3 利用者個々の特性に合わせた日中プログラムを検討実施した。
4 障害重い方でも地域移行が可能な住居についてプロジェクトを編成して検討。また、厚木、愛川、清川の自立支援協議会において中心的な役割を担い、各県域障害保健福祉圏域への助言及び各圏域の調整機能を担った。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	982,108	426,826	540,571	14,711	970,580	11,528
上半期計 (a)	500,035	211,816	265,409 (286,331)	22,810	388,066	111,969
下半期計 (b)						
4月	78,054	29,612	44,340 (46,491)	4,102	56,507	21,547
5月	78,235	29,612	42,245 (48,091)	6,378	61,889	16,346
6月	110,669	63,756	44,383 (48,814)	2,530	107,050	3,619
7月	79,676	29,612	45,923 (49,175)	4,141	55,561	24,115
8月	76,663	29,612	44,092 (45,985)	2,959	52,227	24,436
9月	76,738	29,612	44,426 (47,775)	2,700	54,832	21,906
合計 (b)	500,035	211,816	265,409 (286,331)	22,810	388,066	111,969

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・当初予算見込み額よりわずか増収となっている。
- ・利用者のベット等更新執行が下半期に予定している為、上半期は多額の収支差額が生じている。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首) 32,000
		(期末) 0

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	573 人	626 人	△8.5%
下半期計 (b)	人	人	0%
4 月	96 人	100 人	△4.0%
5 月	95 人	100 人	△5.0%
6 月	95 人	101 人	△5.9%
7 月	95 人	101 人	△5.9%
8 月	96 人	101 人	△5.0%
9 月	96 人	101 人	△5.0%
合計 (a+b)	573 人	626 人	△8.5%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

3月にケアホームの完成に伴い施設入所者がケアホームへ移行したことにより利用者減となっている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4 月	0	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	0	1	0	0	0	1
7 月	0	1	0	0	0	1
8 月	0	0	0	0	0	0
9 月	0	1	0	0	0	1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・敷地から公道に出る際の安全配慮	職員に注意喚起を実施する
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・除草作業の日程の事前告知	作業日程を予め近隣にお知らせする
	・園敷地隣接地の樹木伐採の要望	当園敷地ではないので市役所へ通報する

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
	重大な事故等は発生せず

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	実施せず		
月 日			

9 上(下)半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>人権に配慮した安心安全な生活の保障に努め支援スタッフの技術の向上を図っている。また、利用者の地域移行を常に考え、強度行動障害の利用者についてもプロジェクトを編成して地域移行について検討している。また、在宅の障害者についても短期入所などの受入を積極的に行い、これまで以上に充実させることに取り組んだ。</p> <p>また、国の方針に従い、施設入所者の定員を削減し、平成23年度末目標90名定員に向けて取組中で現在94名となる。在宅者支援、地域支援の立場から、障害福祉施策の重点課題である、地域並びに障害保健福祉圏域の自立支援協議会の運営や相談支援事業の中核的な役割を果たすために、さらにスタッフの質、量の確保、事業展開を図っていきたい。</p>
施設所管課	<p>障害が重くても地域で生活することが可能となるよう、強度行動障害者等を受入れられるグループホームの設置に向けた取組みを行っている点は評価できる。</p> <p>今後は、加齢児や重度重複障害者等を、更に積極的に受け入れ、障害者の地域生活を支えるとともに、支援技術の研修、講師として研修会に協力するなど、地域福祉の中核的な役割を引き続き果たしてほしい。</p>